

1 年学年便り

蓄える

～夢に向かって輝くために～

No.2 令和3年4月30日

入学から1ヶ月が経ちました

本日は授業参観、行事説明会、PTA総会と、お忙しい中、本校にお越し頂きありがとうございました。

学校生活が1ヶ月たちましたが、一番とまどっていることは生活のペースの早さではないかと思います。50分の授業と授業の間は10分しかなく、慌ただしく感じたのではないのでしょうか。技能教科の授業も始まりました。すべての教科の授業の先生と出会いました。「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」は教科によって少し違うことを感じて、慣れていきましょう。皆さんが主体的に楽しく学び、分かるように工夫していきます。



給食完食素晴らしい

今年度の給食も始まりましたが、1年生はたくさん食べる雰囲気があり、毎日の給食は、ほぼ完食しています。大変素晴らしいと思います。自分の体を成長させるための栄養をたくさん摂っていきましょう。

誰にでも優しい気遣いができることが素晴らしい

Dさんがよく「先生〇〇しましょうか。」と気付いたことを進んで仕事をしてくれました。H君が、帰りの会で連絡をするとき、内容を忘れて沈黙が起きたとき、まわりの子が「〇〇だったよ。」と助けたり、S君が口ごもって発言が止まっても、「〇〇と言いたいのか?」と助けたりするのを聞いて心がほっこり温かくなりました。なんて優しい集団なのだろう。まだ、日が浅いクラスなのに。小学校からの積み上げで生徒に優しさが育っているのだろうと感じました。中学校で大きな集団になり、良い意味で融合して仲間となっていて欲しいと願っています。

安心・安全な学校生活を実践しています

朝、登校すると校門で校長先生と教室で友達と、担任の先生と元気に「おはようございます。」と挨拶を交わします。荷物を置くと手洗いとうがいを完了して、友達と暫し歓談をしています。7時55分には席について、8時からの読書に備えます。朝の会のあと8時25分から授業が始まります。手洗いうがいは新しい生活習慣として実践しています。社会に出たときに、手洗いうがいが自然とできるといいと思います。



今月の道徳「そうじの神様が教えてくれたこと」

《あらすじ》ディズニーランドの開園の広告を見た翌日、主人公はディズニーランドで働きたいと思い、入社試験を受ける。なんとか合格するが、「夜間の清掃部門」に配属され、やる気をなくしてしまう。そんなときディズニーランドで「そうじの神様」と呼ばれるチャック・ボヤージンさんと出会う。主人公を含めた社員は、チャックさんの掃除に対する情熱と一心に掃除に取り組む姿に心打たれ、清掃員の仕事に誇りをもっていく・・・。

「働く」ということがどういうことなのか思いを発表し合いました。



《生徒の感想より》

- ・小さなことでも、人の役にたつことがわかった。限界を自分できめずにできるかぎりがんばりたい。(鍋田紗子さん)
- ・チャックさんの掃除への思いが、1つ1つの役割には何かしら必ず意味があると思いました。(米内勇太さん)
- ・自分のためであることがわかった。これから白糸を守って行くために道ばたのゴミを拾っていきたいと思いました。隅々まできれいに掃除をしたいです。(齋藤柚花さん)
- ・表の仕事だけでなく、その裏でもたくさんの人がチャックさんのような思いをもっていて、そういう人の気持ちを少しでも考えながら生活していきたい。(小林龍矢さん)
- ・主人公は掃除をお客さんのために頑張っていました。私だったら、掃除を一生懸命やらなかったり、さぼったりしていたと思います。これからは、主人公のように取り組んで、諦めずに頑張りたいと思います。(大石美織さん)
- ・クラスのみんなの意見を聞いて、どんないやなことでも、真剣にやればいいんだなと思いました。(佐野惺玲さん)
- ・私も掃除は「他人がよごしたのに、なんでやる？」と思ったことがあります。でも「よごさないための掃除」と考えてみれば、それは名誉なことだと思いました。いつまでも“きれい”を続けるために、学校で黙働清掃を心がけたいです。(渡邊葉月さん)
- ・掃除の大切さが伝わりました。学校の清掃をやる理由はみんなが健康でいられるようにするためなのかなと考えました。一人一人が集中して掃除をすれば、みんなが健康で元気に過ごせるので、これからは集中して掃除をしたいです。(大川莉乙那さん)
- ・掃除の大切さが分かりました。毎日、お母さんは仕事や掃除などの家事をやってくれているので、誰にでも頑張ってくれる人には感謝したいです。(清水紅凜さん)

